

太田善夫氏文書概要

- 1: 文書群番号 095109
- 2: 文書群名 太田善夫氏文書
- 3: 出所 太田善夫家
- 4: 家業・役職等 近世：善法寺村庄屋
近代：小田村村長ほか
- 5: 地名 摂津国川辺郡善法寺村／兵庫県川辺郡善法寺村／川辺郡小田村善法寺／
尼崎市善法寺／尼崎市善法寺町
- 6: 行政区分 1. 幕府領・大坂城代領・京都所司代領／兵庫県第11区／下坂部組戸長役
場／小田村／尼崎市
2. 旗本平野氏（長重系）領／（近代以降は「1」に同じ）
- 7: 歴史 善法寺村は、市域北東部、藻川沿いに位置する。村高は近世を通じて
224石余、同村は相給で、村の大部(184石余)は幕府領・大坂城代領・京
都所司代領など、近世を通じて領主がめまぐるしく交替した。太田家は
この支配に属し、村役人を務めた。宝暦2年(1752)幕府領分の宗門改帳
では家数28軒・122人。小部(40石)は天正年間(1573～1592)から旗本平
野氏(長重系)知行所で、幕末期の家数は1軒。水利は西明寺井組に属し
た。氏神は白井神社、寺院は浄土真宗本願寺派円融寺。
明治22年(1889)小田村の大字となり、昭和11年(1936)小田村は尼崎市
と解消合併、当時太田照氏が村長を勤めていた。
- 8: 伝来 太田氏が阪神・淡路大震災被災を機に門長屋(近世建築)の解体を当館
に相談。同氏宅を訪問の折、所蔵文書を確認し、調査。平成7年
(1995)11月に太田氏より借用、同10年12月、太田氏より寄託。
- 9: 史料入手先 太田善夫氏（原蔵者）
- 10: 点数 4847点(目録件数1349件)
- 11: 年代 文禄3年(1594)～昭和32年(1957)
- 12: 構造と内容 ①近世の善法寺村文書、②近代の小田村関係文書、③家文書から構成
される。①は文禄検地帳等土地関係帳簿、年貢免状等の年貢収納史料が
まとまっている。他に村小入用帳・支配勘定帳、凶作時の拝借等の村の
財政・維持に関わるもの、宗門改め帳等戸口関係藻川筋・西明寺井の水
利関係の文書等が多く残る。②には県税村税・協議費等賦課関連、小田
村会議案綴り、浜連合町内会・衛生組合関係帳簿類等があり、昭和初期
尊坊・弥生ヶ丘土地区画整理事業資料367件760点は、特に大きな部分を
占める。③は小作宛米帳・奉公人請状等農業経営史料、貸借・売買証文
類等。大正～昭和期子弟の学業関係資料もあり教科書類も多い。
- 13: 関連史料 -
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 河島裕子